

平成26年度

学校自己評価報告書

平成27年4月

学校法人日本コンピュータ学園

東北保健医療専門学校

■平成26年度 学校自己評価について

学校法人日本コンピュータ学園 東北保健医療専門学校は、東北における介護・医療・福祉の専門職を養成する教育機関として、平成23年に開校し、病院・施設・地域との連携を強化し、職業実践的な教育により、最先端で活躍できる医療福祉従事者の育成を目指しております。

昨年度は、作業療法科・医療秘書科・医療情報管理の3学科が、文部科学大臣により、「職業実践専門課程」の認定を受けており、今年度は、理学療法科・介護福祉科の2学科の申請を予定しており、更なる実践的な教育体制を構築していきたいと思っております。

そのため、本校では、開校以来、学校自己評価に取り組み、その結果を学校教育に生かしており、今後とも、医療及び福祉に精通するだけでなく、学生教育で高い評価が得られる改善を続け、社会で必要とされる人材を育成して参ります。

1、対象期間

平成26年4月1日～平成27年3月31日

2、実施方法

(1) 学内に「学校自己評価委員会」を設置し、委員会を中心に教職員一同により評価を行っております。

委員会構成：委員長 校長
委員 法人事務局部長補佐、総務部長、就職センター室長、
教務課長、

(2) 評価は「専修学校における学校評価ガイドライン」を参考に行っています。

(3) 評価は、年一回年度末に行います。

(4) 評価結果の公開は、本報告書をホームページに掲載することにより行います。

3、自己評価の項目

自己評価は、以下の10項目を実施します。

- (1) 教育理念・目標
- (2) 学校運営
- (3) 教育活動
- (4) 学修成果
- (5) 学生支援
- (6) 教育環境
- (7) 学生の受け入れ募集
- (8) 財務
- (9) 法令等の遵守
- (10) 社会貢献・地域貢献

4、評価項目に対する評価

評価は、4～1の点数で記載します。

評価 4：適切 3：ほぼ適切 2：やや不適切 1：不適切

■基準1 教育理念・目標

教育理念

1. 基本的資質の修養
品性を磨き、自己の人格形成に努めること
2. 知識と技術の体得
理解を伴った正確な技術の訓練を継続すること
3. 調和のとれた心の鍛錬
心の平静を保ち、前向きな姿勢で取り組めること

(1) 評価

評価項目		評価 (4~1)
a	理念・目的・育成人材像は定められているか	4
b	学校における職業教育の特色を示しているか	4
c	社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4
d	理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	3
e	各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4

(2) 状況および課題と改善策

- a. 理念・目的・育成人材像について明確に定め、学科に対応する業界ニーズに則した方向づけを示している。
- b. 各学科における職業特色を反映するように、入学案内書・ホームページにおいて明示している。
- c. 年度ごとに学修要項（運営方針・教育計画）を変更修正している。さらには、教員の認識を高め、職業実践専門課程の取組を通じて、将来構想についての説明を継続していくことが必要である。
- d. オープンキャンパス、体験入学会、入学時・在校生オリエンテーション、実習前に、学生便覧や学修要項・実習の手引きなどで学生へ周知している。同様に保護者には、オープンキャンパス、体験入学会・入学時オリエンテーションへ参加した方に説明を行い、さらに、今年度は12月に学校便りを通じて、理念の具体的説明を行いました。今後は、保護者へ「学修要項」を配布していきたい。
- e. 指定規則や各関連団体のニーズに則して、教育目標や育成人材像が方向づけられている。また、「学修要項」、「学生便覧」、各科の「実習手引き」に記載している。

■基準2 学校運営

(1) 評価

評価項目		評価 (4~1)
a	目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
b	事業計画に沿った運営方針が策定されているか	4
c	運営組織や意思決定機能は、明確化され、有効に機能しているか	3
d	人事、給与に関する制度は整備されているか	3
e	各部門の組織整備など意思決定システムは整備されているか	3
f	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	3
g	教育活動に関する情報公開が適切になされているか	3
h	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3

(2) 状況および課題と改善策

- a.b. 前年度の学校評価及び事業計画に基づき、運営方針を策定し、「学修要項（平成26年度運営方針・教育計画）」に掲載し、年度初めに教員・学生に周知している。
- c.e. 学校運営に関する組織は整備され、機能しているが、より有効に機能させるために、引き続き、担当者や役割の明確化を進めていく。
- d. 人事、給与に関しては、法律改正に合わせた見直しを適宜実施している。人事制度については、現状の課題を整理し、どのように整備するか検討していく。
- f. 基本的なコンプライアンス体制は整備されているが、各規程に関して、定期的な検討を続け、見直し作成をしていく。
- g. 教育活動に関する情報として、カリキュラムを入学案内書やホームページで適切に公開している。さらには、各科での教育方法、教育評価、成績評価、資格試験など適時公開していく。
- h. 情報システムの運用は積極的に取り入れており、効率的な業務の推進を図っている。継続して、検討・改善を進めていきたい。

■基準3 教育活動

(1) 評価

評価項目		評価 (4~1)
a	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されている	4
b	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	3
c	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
d	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	3
e	関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	3
f	関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	3
g	企業や専門家の意見、評価を受け、より実践的な能力を修得する機会が整備されているか	3
h	授業評価の実施・評価体制はあるか	4
i	成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	4
j	資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	3
k	必要な場合は業界と連携して、人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4
l	関連分野における先端的な知識・技能等の修得や指導力の育成など、教員の資質向上のために研修等の取組が行われているか	4
m	職員の能力開発のための研修等が行われているか	3

(2) 状況および課題と改善策

- a. 教育理念・人材育成像などに沿った教育課程を編成し、実施方針等を策定し、「学修要項」「学生便覧」にまとめている。
- b. 修業年限を考慮し、一般的な到達可能レベルとして明確化しているが、さらに各業界の人材ニーズレベルを勘案した知識、技術、人間性等の科目内容の検討と各学年の年間を通じた明確な目標設定が必要である。特に、理学療法科と介護福祉科では、職業実践専門課程の申請に向けて取組む中で、各業界からの意見聴取や検討を重ねてい

- き、明確化していきたい。
- c. 各学科とも、規定及び資格取得に必要な条件に基づき、カリキュラムは体系的に編成されている。
 - d.e. 職業実践専門課程の申請をしていない理学療法科・介護福祉科において、教育課程編成委員会を設立し、その委員会で、カリキュラムや教育方法の工夫・開発・作成・見直しをしていきたい。
 - f.g. 理学療法科・作業療法科・介護福祉科は体系的に、尚且つ適正に運営されているが、医療秘書科・医療情報管理科のインターンシップ制度の体系化が課題である。
 - h. 授業評価の体制は整っており、学生の授業評価、学生の学習自己評価などを実施している。また、学生の教員評価は、高い状況である。
 - i. 基準は明確であるが、さらに、科目間で評価格差が生じないようなあり方の検討と取り組みが必要である。
 - j. 資格取得に対する指導体制はありますが、カリキュラムへの位置づけを意識したものではない。特に、理学療法科・作業療法科は、国家試験出題基準が平成 28 年から変更になることを踏まえ、早急に検討が必要である。
 - k. 教員の採用に関しては、設置基準の規定及び人物・専門的な能力等の必要な要件を確認した上で採用している。
 - l.m. 平成 26 年度教員研修計画に基づき実施したが、教員の資質向上へ結びつく研修として、さらに形態や内容の修正が必要である。特に指導力向上のための研修体制の整備が急務である。

■基準 4 学修成果

(1) 評価

評価項目		評価 (4~1)
a	就職率の向上が図られているか	4
b	資格取得率の向上が図られているか	2
c	退学率の低減が図られているか	3
d	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3
e	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3

(2) 状況および課題と改善策

- a. 就職については、担任と就職センターが連携し、独自に開発した「就職支援プログラム」の下、計画的に指導を行い、就職率の向上を図っている。学科によって授業計

画、実習期間などが異なることから、今後は学科毎に対応したスケジュールによりきめ細かな支援を充実させていく。

- b. 医療秘書科、医療情報管理科は資格取得数が増え、高度な医師事務作業補助技能認定試験合格者も多くなった。さらに促進するような体制を整備していく。作業療法科は国家試験合格率が振るわなかった。また、来年から出題基準が変更になるため、試験範囲や出題傾向の分析および国家試験対策のグループワーク等の指導体制・指導内容を再検討し、徹底した個別対応による指導体制を整備・強化していく。
- c. 「支える教育」体制の実践と学生サポート室が有効に機能した結果、昨年度 11%の退学率を 7%へ減少させることができ、目標を達成できた。今後は、成績不振者に対する早期指導の導入をしていきたい。
- d.e. 就職先や卒業生本人からの聞き取りなどで把握しているが、卒業生の動向について、設立した同窓会を支援しながら、アンケート調査も実施し、就職活動や教育活動へ活かしていけるような仕組みの検討をしていきたい。

■基準5 学生支援

(1) 評価

評価項目		評価 (4~1)
a	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	3
b	学生相談に関する体制は整備されているか	4
c	学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	4
d	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4
e	課外活動に対する支援体制は整備されているか	4
f	学生の生活環境への支援は行われているか	4
g	保護者と適切に連携しているか	3
h	卒業生への支援体制はあるか	3
i	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3
j	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4

(2) 状況および課題と改善策

- a. 就職については、就職センターに専任の職員を配置し、独自に開発した「就職支援プログラム」の下、担任と就職センターが連携して計画的に指導を行っている。就職活動への意識が弱いため開始が遅かったことを踏まえて、学生に対しては、就職までの行動計画を立案させ、指導修正する体制を整備していきたい。

- b. 「支える教育」体制の実践と学生サポート室を中核に据えた結果、有効に機能している。
- c. 選考料免除・奨学金制度・学費分割制度など、経済的に支援する各種制度が整備されている。
- d. 学生サポート室の体制として、適宜、健康相談・健康管理やカウンセリングを実施し、早期に対応できている。
- e. 学業に支障がない範囲で、積極的にクラブ活動やボランティアの紹介などを行った。
- f. 学生寮をはじめ、校内にはメディアセンター、食堂、売店、就職センター、保健室、相談室、自習室などを備え、適時個別の相談を実施し、快適な学生生活を送れるよう指導している。
- g. 保護者には適時、適切に対応してきたが、さらに今後は、早期相談と協力体制の整備をして、学生が主体的に学習できるように連携していきたい。
- h. 個別に教員が相談対応し、状況を把握し、支援内容を検討してきたが、今後は、卒業研修や情報交換会など積極的に企画していきたい。
- i. 社会人のニーズを把握することが難しいと感じており、職業実践専門課程に認可された作業療法科・医療秘書科・医療情報管理の他、理学療法科と介護福祉科はこの課程申請に取り組む過程で、関係機関からの意見聴取を積極的に実施していきたい。
- j. 「平成 26 年度宮城県福祉・介護人材確保対策事業」として「中学生・高校生対象の福祉・介護体験講座」を年 4 回実施した。また、新 3 年生対象に「春のオープンキャンパス」で、職業の理解を深める企画を実施した。

■基準 6 教育環境

(1) 評価

評価項目		評価 (4~1)
a	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3
b	学内外の実習施設、インターシップについて十分な教育体制を整備しているか	3
c	学生が自主的に学習するための環境が整備されているか	3
d	防災、防犯に対する安全管理体制は整備されているか	3

(2) 状況および課題と改善策

- a. 施設・設備は適正に整えている。今年度は、メディアセンター（図書室）の一部改修工事を行った。その他、状況に応じた対応を継続していきたい。

- b. 理学療法科、作業療法科、介護福祉科の実習施設および教育体制は整備され、適切に運用されている。引き続き、実習施設の確保をしていきたい。また、医療秘書科、医療情報管理科については、学外実習の在り方を検討していく。
- c. メディアセンター、学生食堂の利用、各教室の使用等、自主的に学習するための環境が整備されている。今後は、最新の学術雑誌の整備が必要である。
- d. 定期的に年2回の防災訓練を実施し、そのうち1回は地震に対する訓練も同時に実施している。防犯に関しては、徹底した巡回・施錠を強化し、即時、対策を講じて対応している。また、災害傷害保険等にも加入しており、安全管理体制は整備されている。

■基準7 学生の受け入れ募集

(1) 評価

評価項目		評価 (4~1)
a	学生募集活動は、適正に行われているか	4
b	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	3
c	学納金は妥当なものとなっているか	4

(2) 状況および課題と改善策

- a. 学校の実績を基に、真実性、透明性、公平性、法令遵守において、常時十分な配慮を行うとともに、入学希望者に十分な判断材料を提供できるよう実施している。「春のオープンキャンパス」では、仕事の理解を中心とした企画を実施し、参加者の満足度の向上に寄与した。今後とも「体験入学会」・「オープンキャンパス」の在り方や内容を検討していきたい。
- b. 各学科とも、職業内容や教育方針、教育状況の伝達を、「入学案内書」「ホームページ」「体験入学会」「オープンキャンパス」で、適切に紹介してきたが、今後は、分析した教育成果を正確に伝えていく必要がある。
- c. 学納金は、各学科における入学金、授業料、実習費等を算出し、教育内容や教育環境に照らし妥当であるか協議の上、理事会の承認を得て決定している。学納金の決定に際しては、他校の学費水準も把握した上でやっている。

■基準8 財務

(1) 評価

評価項目		評価 (4~1)
a	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
b	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
c	財務について会計監査が適正に行われているか	4
d	財務情報公開の体制整備はできているか	4

(2) 状況および課題と改善策

- a. 財務諸表の通り、学園の財務基盤は安定している。今後も、学生数の確保を図り、継続して中長期的な財務基盤の安定に努めていく。
- b. 事業年度開始に当たって作成する予算に対し適宜補正予算を組むなど、予算の編成及び執行は適正に実施している。
- c. 会計監査は、関連法規により、公認会計士及び監事により適正に行われている。
- d. 財務情報については、事務局に決算書類等の帳票を備え付けるとともにホームページに「資金収支計算書」、「消費収支計算書」、「貸借対照表」を公開している。

■基準9 法令等の遵守

(1) 評価

評価項目		評価 (4~1)
a	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
b	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
c	自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4
d	自己評価結果を公開しているか	4

(2) 状況および課題と改善策

- a. 法令や設置基準の遵守については適正に行っている。また、法令等による指定学科についても、その指定基準ならびに改正点等に適正に対応している。
- b. 個人情報の保護については、「個人情報の保護に関する規則」、「個人情報保護に関する細則」、「個人情報保護管理に関する運用基準」を定め、教職員へ周知し、遵守している。今後もより一層対策を強化していく。
- c. 自己評価については、「学校自己評価委員会」を組織し、定期的な評価を通して問題点を明らかにするとともに、その対策および改善案を検討し、財政的、人的資源の最

適配分を考慮して実施している。

- d. 自己評価結果については、「学校自己評価報告書」としてホームページ上に公開している。

■基準10 社会貢献・地域貢献

(1) 評価

評価項目		評価(4~1)
a	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4
b	生徒のボランティア活動を奨励、支援しているか	4
c	地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	4

(2) 状況および課題と改善策

- a. 関係団体の研修会開催の支援や会場の貸し出しを行っている。
- b. 関係団体からボランティアの要請があった際は、学校として、積極的に、学生に適宜紹介し、活動参加にあたっては、推奨・協力している。
- c. 「平成26年度宮城県福祉・介護人材確保対策事業」として、中学校、高校等を訪問し、福祉・介護の仕事の魅力を伝達し、将来的な福祉・介護の仕事の選択を促すような相談・助言・指導などを行った。イベントとして、中学生・高校生対象に年4回の「福祉・介護体験講座」を開講し、福祉・介護の仕事の大切さと魅力を実感していただいた。

以上

学校法人日本コンピュータ学園 東北保健医療専門学校

〒980-0013 宮城県仙台市青葉区花京院 1 丁目 3 番 1 号
